



ほけんだより 9月号



令和7年8月29日
石山くじら保育園

9月9日は「救急の日」です。救急とは、急な怪我や体調不良の手当てをすることです。この機会に、怪我を防ぐために気をつけることをご家庭でも話し合ってみましょう。

おうちの中の 危険 チェック!

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？

0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

事故が多発するのは外だけではなく、家の中でも。子供の目線で、家の中を見る習慣をつけましょう。

家庭で起こりやすい事故

- ぬれた床で転倒
- おぼれる

- 階段からの転落

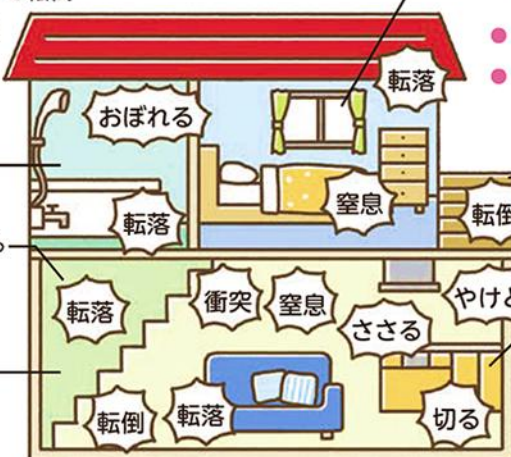
- 家具にぶつかる
- 家具や子ども用遊具からの落下
- 敷物やコードにつまずいて転倒
- ブラインドやカーテンのひもによる窒息
- 窓からの転落

- 大人用ベッドから落ちる
- 窓からの転落
- ブラインドやカーテンのひもによる窒息

- ベランダなどの柵を乗り越えて転落

- 炊飯器、電気ケトル、フライパンなどによるやけど

- 電化製品のコードにつまずいて転倒
- 刃物による切り傷、刺し傷



救急箱の中身、 チェックしてますか？

CHECK!

☐ 絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



☐ はさみ

救急箱専用にしておくと衛生的で安心です。



☐ 体温計



☐ ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



☐ 毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



☐ 常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。